

お茶会だより 6月号

矢島保育園 R6.6.20(木)

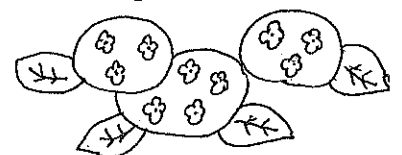
6月のお茶会は茶花を生けました。前日からどんなお花、花器にしようかと期待を膨らませていた子ども達。普段から植物への興味が大きいので、茶室に準備されたお花を見て「お茶会楽しみだな～」と心を弾ませていました。

お茶会が始まり、植田先生に実際に生けるところを見せていただきました。子ども達の視線は植田先生の手元に集中し、美しく生ける方法をよく聞きながら目を輝かせていました。

自分達が生けることになると、「これにする!」と直感で決まったり、「や、ぱりこれにしようかな」とじくりと悩んだりとお花や花器を選ぶ姿は様々でした。一人一人のイメージが次々と出てきて「も、と短くしようかな」「葉、ぱを切ったらよくお花が見えるかな」と自分の感覚や感性で素敵な茶花を生けていました。皆、完成した自分の作品を見つめ、年下の子やお家の人にも見てもらいたいと自信た、ぶりでした。

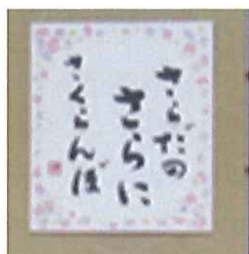
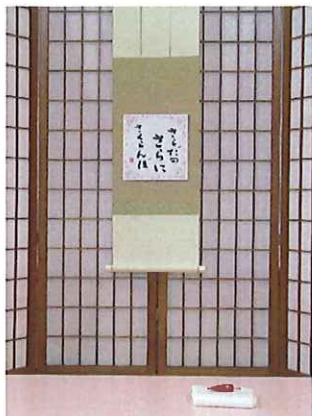
お茶を点したり、いただいたりするだけがお茶会ではないということを知り、これからの茶花や自然の中の花への興味、関心へと繋がっていくのではと子ども達の姿が楽しみになりました。

★来月からは場所を変えて「鳥海山麓地区総合案内所」でのお茶会となります。姿勢や指先を伸ばして基本を振り返りながら練習を重ねていきたいと思ひます。



【今月の床の間】

《掛け軸》「さらだのさらにさくらんぼ」



《香合》「唐傘」

旬の「さくらんぼ」の掛け軸と梅雨が始まるので「唐傘」の香合。この床の間に皆の生けた茶花が置かれることを植田先生も楽しみにして来てくれました。

【お茶会の様子】



花器の大きさに合わせながら2、3本のお花を生けると良いですよ



色々な花器があって迷うな〜



きれいだね

このお花どうかな

一人一人思いを込め、真剣な表情で生けていました。



アジサイの茎を少し切るともっと素敵になると思いますよ



それがいいな

ぞう組 茶花展

